

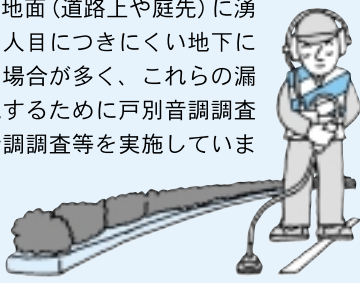
限りある水資源を大切に…… 漏水調査にご協力を

水道管の老朽化が進むと、水道管そのものが腐食し、少しの外圧等により漏水事故が発生します。漏水事故の90%が各ご家庭に給水している引込管（お客さま所有）です。

水道局では、高松市内を4分割し、旧市内を毎年、その他を3区域に分けて3年毎に「漏水調査」を実施しており、漏水を早期発見、早期修理することで水の有効利用や、漏水が原因となる道路の陥没などの二次災害を防いでいます。

※調査方法

漏水は地面（道路上や庭先）に湧き出ず、人目につきにくい地下に浸透する場合が多く、これらの漏水を発見するために戸別音調調査や路面音調調査等を実施しています。



戸別音調調査

お客さまの各ご家庭に給水している引込管の内、宅地内に設置されているメータ付近の調査を行います。宅地内へ立入調査を行うため、事前に文書等でお知らせします。調査には、(財)高松市水道サービス公社の職員がお伺いします。なお、調査員は身分証明書を携帯していますので、必要場合は提示を求めています。漏水調査にご協力をお願いします。

路面音調調査

水道管が埋設されている道路上で、漏水探知器を使用し、調査を行います。交通量の多い地区については、夜間に行う場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

道路上などで漏水を発見された場合や漏水でないかと思われたときは、水道局へ連絡をお願いします。

●連絡先
給水維持室 漏水修繕係
☎839-2761

平成16年度 調査区域



ISO 14001の認証を取得しました

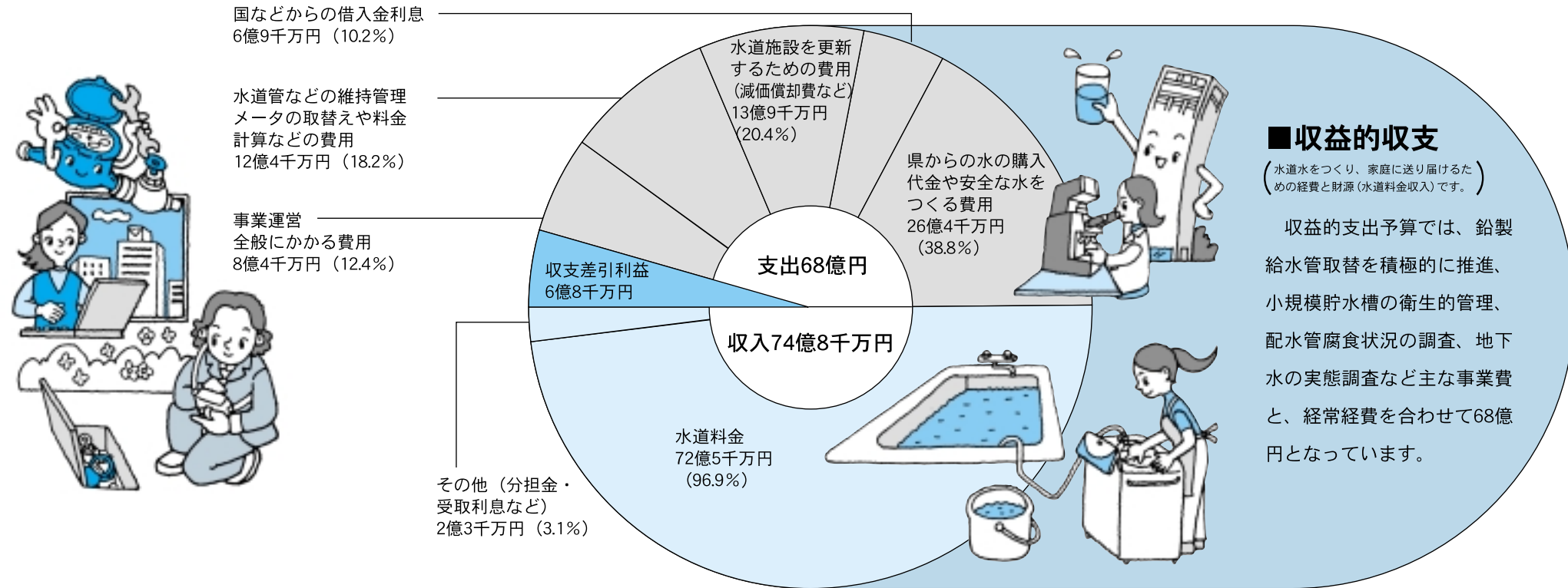
水道局自らが率先して環境に配慮した事業運営を推進し、「土と水と緑を大切にする環境共生都市 たかまつ」を実現するため、水道局庁舎内組織の事務事業を対象とした環境マネジメントシステムを構築し、環境負荷の低減に取り組んでいます。

この取組みが評価され、平成16年2月6日に、四国内の水道事業として初めてISO14001の認証を取得しました。

ISO14001の認証取得を新たなスタートとして、今後、さらに安全で良質な水を安定的に給水するサービスを通して、環境保全と環境負荷の低減に取り組んでいきます。

平成16年度予算は、収益的支出と資本的支出を併せて100億9千万円で、前年度に比べて6.4%の増加となっています。引き続き、事務事業の見直しによるコストの削減を行うとともに、お客さまサービスの向上、さらには安全で良質な水を安定的に供給するために施設整備や管網整備を推進していきます。

平成16年度水道事業会計予算は 100億9千万円



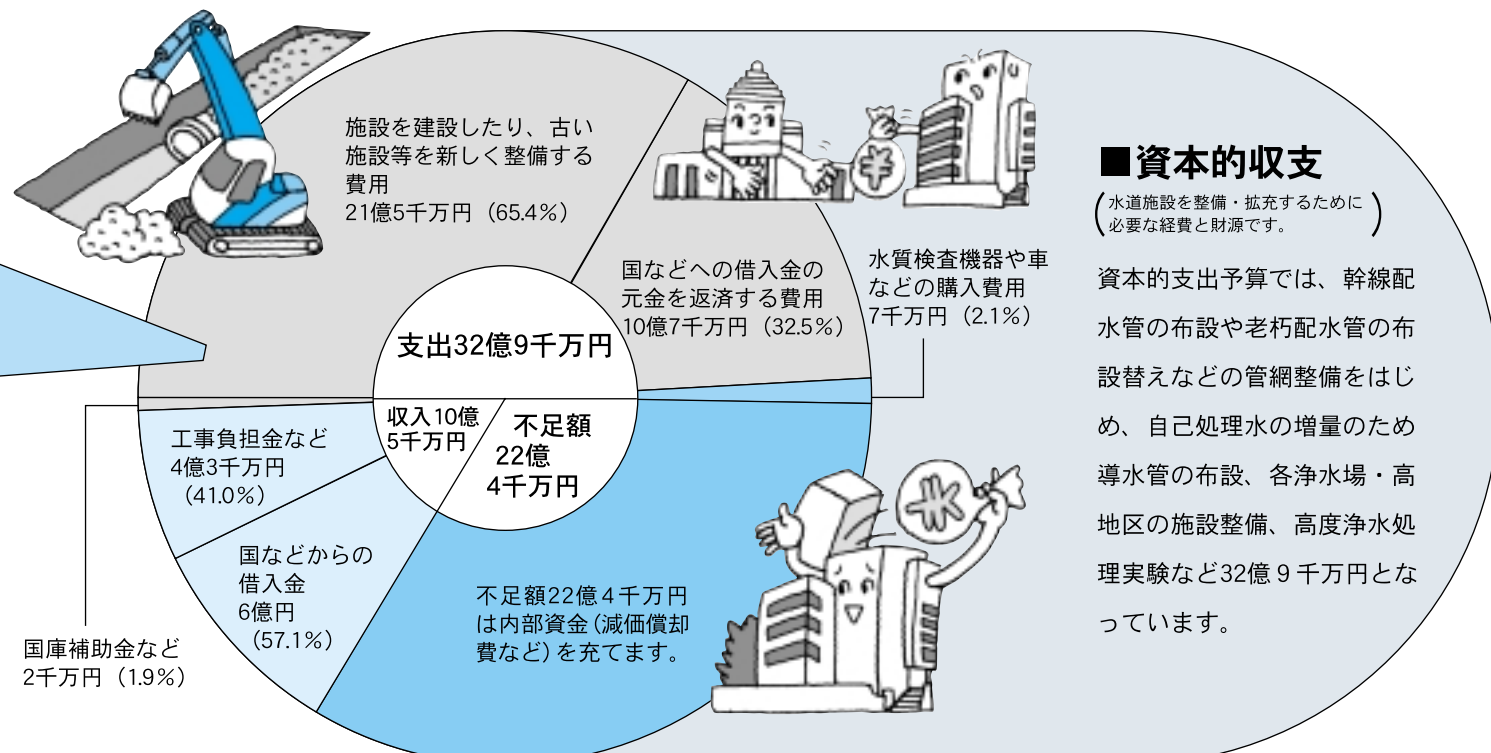
■収益的収支

(水道水をつくり、家庭に送り届けるための経費と財源(水道料金収入)です。)

収益的支出予算では、鉛製給水管取替を積極的に推進、小規模貯水槽の衛生的管理、配水管腐食状況の調査、地下水の実態調査など主な事業費と、経常経費を合わせて68億円となっています。

主な建設改良事業

- 水質検査機器の購入
- 御殿・浅野・川添浄水場の施設改修
- 高地区整備等
- 配水管整備 27,031メートル
 - ・幹線配水管布設事業
 - ・未給水地区解消事業
 - ・老朽管布設替事業
- 施設整備
 - ・奥の池周辺井戸導水管布設
 - ・御殿浄水場着水井・排泥池築造等
 - ・三郎池～坂瀬導水管布設等
 - ・川添浄水場排水処理施設設置
 - ・高地区送水管布設



■資本的収支

(水道施設を整備・拡充するために必要な経費と財源です。)

資本的支出予算では、幹線配水管の布設や老朽配水管の布設替えなどの管網整備をはじめ、自己処理水の増量のため導水管の布設、各浄水場・高地区の施設整備、高度浄水処理実験など32億9千万円となっています。